

令和7年度習志野市公営企業運営協議会第2回会議 会議録

- 1 開催日時 令和7年8月25日（月曜日）午後3時00分～午後3時45分
- 2 開催場所 習志野市企業局 本館3階AB会議室
- 3 出席者
 - 【議長代理】 森 英樹
 - 【委員】 及川 記美代、久保木 たかね、伊達 佳子、山谷 敏信
 - 【職員】 企業管理者 竹田 佳司、
業務部長 真田 知幸、工務部長 御山 俊行、
業務部次長 安孫子 司、工務部次長 盛 康二、
企業総務課長 安井 直人、公営企画課長 米山 悟史、
経理課長 望月 伸高、業務部副技監（営業料金課長） 吉川 充定、
工務管理課長 藤倉 雅樹、ガス水道建設課長 矢島 淳一、
ガス水道供給課長 小嶋 玄器、ガス水道保安課長 松丸 守、
工務部副技監（下水道課長） 古市 久、工務部主幹 宍倉 修一
- 4 議題
 - （1）令和6年度習志野市公営企業会計決算概要
～ガス・水道・下水道事業会計～
 - （2）第2次経営戦略における令和6年度進捗状況評価について
 - （3）令和7年度優良地方公営企業総務大臣表彰受賞について（報告）
- 5 会議資料
 - ・ 会議次第
 - ・ 令和6年度習志野市公営企業決算概要
 - ・ 第2次習志野市経営戦略進捗管理（令和6年度分）
 - ・ 第2次習志野市ガス事業経営戦略令和6年度末進捗状況評価表
 - ・ 第2次習志野市ガス事業経営戦略個別評価表
 - ・ 第2次習志野市水道事業経営戦略令和6年度末進捗状況評価表
 - ・ 第2次習志野市水道事業経営戦略個別評価表
 - ・ 第2次習志野市下水道事業経営戦略令和6年度末進捗状況評価表
 - ・ 第2次習志野市下水道事業経営戦略個別評価表

6 議事内容

【企業総務課長 安井】議事につきましては議長の進行とさせていただきますが、本日は右島議長が欠席されております。議長が不在の際の議事進行については特段の定めがないため、委員の互選により議長の代理を選出したいと思っております。事務局より、本日出席の委員の皆さまの中で、最も長く公営企業運営協議会委員を務めてくださっている森委員を推薦いたしますが、皆さまからご意見はございますか。

意見なし

【企業総務課長 安井】森委員、いかがでしょうか。

森委員同意

【企業総務課長 安井】森委員に議長代理をお引き受けいただくことにご異議ありませんか。

異議なし

【企業総務課長 安井】議長代理は森委員に決しました。ここからの進行は議長代理にお願いします。

【森議長代理】これより、令和7年度習志野市公営企業運営協議会第2回会議を開会いたします。本日の会議は、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」により、原則公開となっております。しかしながら、本日の議題において、議題1「令和6年度習志野市公営企業会計決算概要～ガス・水道・下水道事業会計～」につきましては、令和7年習志野市議会第3回定例会に対し議案として提出するものであり、議案の提出前に公開で審議することは適当でないため、非公開とすべき事項とされますので、ただいまから協議いたします。お諮りいたします。議題1「令和6年度習志野市公営企業会計決算概要～ガス・水道・下水道事業会計～」非公開とすることにご異議ありませんか。

異議なし

【森議長代理】異議なしと認めます。議題1「令和6年度習志野市公営企業会計決算概要～ガス・水道・下水道事業会計～」について、非公開とすることに決定しました。

【森議長代理】日程第1、会議録の作成についてです。会議録については、要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員の名前及び所管課名を記載した上で、市ホームページ及び市役所グラウンドフロアの情報公開コーナーにおいて

公開したいと考えますが、ご異議ありませんか。

異議なし

【森議長代理】日程第2、会議録署名委員の指名についてです。会議録の作成にあたり、正確性、公正性を期すため、名簿順で山谷 敏信委員を指名させていただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

【森議長代理】山谷 敏信委員を指名させていただきます。

【森議長代理】日程第3、議題に移ります。議題1「令和6年度習志野市公営企業会計決算概要～ガス・水道・下水道事業会計～」について、事務局より説明をお願いします。

【経理課長 望月】

<「令和6年度習志野市公営企業会計決算概要～ガス・水道・下水道事業会計～」について説明>

それでは、令和6年度習志野市公営企業決算概要につきまして、ガス事業、水道事業、下水道事業会計の順にご説明いたします。

1ページをご覧ください。

ガス事業会計の事業の概要であります。令和6年度末メーター取付件数は、8万2千620件で対前年度比515件、0.6%増となりました。ガス販売量は、5千783万4千立方メートルで、対前年度比1.7%増となりました。これは、ガス需要が多い冬季の気温が前年より低かったこと、及び工業用需要が増加したことによるものであります。本支管総延長数は、450.6km、令和6年度の布設延長数は、4kmで、管路耐震化率は94.5%となりました。

次の2ページをご覧ください。

令和6年度ガス事業の収益的収支の決算状況についてご説明いたします。表記については、消費税等を除いた金額で、百万円単位で表しております。収益的収支とは、1年間の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用であります。令和6年度の事業収益は、

74億3千100万円で対前年度比0.5%増となりました。対します、事業費用は、

73億100万円で対前年度比1.5%増となりました。その結果、事業収益から事業費用を差し引いた、当年度純利益は、対前年度比35.2%減の1億3千万円となりました。この純利益の減少は、主にガスメーターの取替費用が増加したこと等によるものです。

次の3ページをご覧ください。

収益的収支の内訳でございます。表記については、消費税等を除き、億円単位で表しており

ます。円グラフ、左側の収益は、主にガス売上でガス販売量が増加したものの、平均原料価格が前年度より安値で推移したため、ガス料金が安価になったことにより対前年度比0.9%減の66億8千万円となりました。円グラフ、右側の費用は、主に購入ガス費42億5千万円、減価償却費8億2千万円などでございます。

次の4ページをご覧ください。

参考までに、平均原料価格の推移をグラフに表しました。

次の5ページをご覧ください。

令和5年度と令和6年度のガス料金の推移でございます。ガス料金につきましては、一般家庭で1か月に30立方メートルのガスを利用した場合で、政府の補助金による値引き前後の金額を記載しております。

次の6ページをご覧ください。

令和6年度ガス事業の資本的収支であります。表記については、消費税等を含む金額を、億円単位で表しております。円グラフ、左側の資本的収入は、投資その他の資産や工事負担金などで対前年度比1千425%増の6億4千万円となりました。増加の要因は、一般財団法人習志野市開発公社への貸付金の償還によるものです。円グラフ、右側の資本的支出は管路や施設の新設及び更新等にかかる建設改良費並びに投資その他の資産などで、対前年度比25%減12億8千万円となりました。令和6年度は、主な建設改良事業として、本支管工事3千971メートル、茜浜供給所直流電源盤更新工事などを実施しております。また、資本的収入が資本的支出に不足する資本的収支不足額につきましては、その財源として、現金支出の伴わない減価償却費などにより、内部に留保した過年度分損益勘定留保資金2億7千400万円、過去の純利益を剰余金の処分により積み立てた、減債積立金1千200万円、建設改良積立金2億6千100万円などで補てんしております。

次の7ページをご覧ください。

剰余金の処分案であります。当年度純利益1億3千37万3千円に令和6年度における減債積立金と建設改良積立金の取崩額の相当額である、利益剰余金変動額2億7千317万1千円を加えた未処分利益剰余金4億354万4千円につきましては、当年度純利益分1億3千37万3千円を建設改良積立金に積み立て、前年度積立金取崩額の相当額2億7千317万1千円を資本金に組み入れようとするものであります。以上が、ガス事業会計の決算の概要でございます。

次の8ページをご覧ください。

つづきまして、水道事業会計の事業の概要であります。令和6年度末メーター取付件数は、6万121件で対前年度比334件、0.6%増となりました。年間有収水量は、1千105万3千立方メートルで一般家庭における1件当たりの使用量が減少したことにより、一般家庭などの需要が減少し、対前年度比0.2%減となりました。本支管総延長数は、320km、本支管布設延長数は、3kmで、これにより基幹管路の耐震適合率は62.3%となりました。

次の9ページをご覧ください。

令和6年度水道事業の収益的収支の決算状況についてご説明いたします。事業収益は、対前年度比3.3%減の21億1千400万円となりました。対します、事業費用は、対前年度比0.7%増の21億600万円となりました。その結果、事業収益から事業費用を差し引いた、当年度純利益は、対前年度比92.0%減の760万円となりました。この純利益の減少は、主に減価償却費が増加したことなどによるものです。

次の10ページをご覧ください。

収益的収支の内訳でございます。円グラフ、左側の収益は、主に給水収益16億3千万円長期前受金戻入4億4千万円などでございます。なお、給水収益は、有収水量は減少したものの、一部の大口需要家の影響により対前年度比0.4%増となりました。円グラフ、右側の費用は、減価償却費8億7千万円、受水費4億2千万円などでございます。

次の11ページをご覧ください。

令和6年度水道事業の資本的収支であります。円グラフ、左側の資本的収入は、企業債や納付金などで対前年度比106.7%増の合計6億円、円グラフ、右側の資本的支出は、管路や施設の新設及び更新にかかる建設改良費並びに企業債償還金などで、対前年度比8.9%減の合計11億1千万円となりました。令和6年度は、主な建設改良事業として重要給水施設管路耐震化事業（その1）や、第1給水場送配水ポンプ制御改造工事などを実施しております。資本的収入が資本的支出に不足する資本的収支不足額につきましては、その財源として、過年度分損益勘定留保資金4億7千200万円、減債積立金1億6千800万円などで補っております。

次の12ページをご覧ください。

剰余金の処分案であります。当年度純利益763万4千円に令和6年度における減債積立金の取崩額の相当額である、利益剰余金変動額1億6千819万1千円を加えた未処分利益剰余金1億7千582万5千円につきましては、純利益分763万4千円を借入企業債の償還のための減債積立金に積み立て、前年度積立金取崩額の相当額1億6千819万1千円を資本金に組み入れようとするものであります。以上が、水道事業会計の決算の概要でございます。

次の13ページをご覧ください。

続きまして、下水道事業会計の事業の概要であります。令和6年度年間総処理水量は、2千571万4千立方メートルで対前年度比0.7%増となりました。年間有収水量は、1千757万5千立方メートルで対前年度比0%減となりました。下水道管総延長数は、526.9km、令和6年度は、下水道管2.6km整備いたしました。

次の14ページをご覧ください。

令和6年度下水道事業の収益的収支について、ご説明いたします。事業収益は、対前年度比0.2%減の61億6千900万円となりました。対します、事業費用は、対前年度比0.0%減の57億3千100万円となりました。その結果、事業収益から事業費用を差し引いた、当年度純利益は、対前年度比2.3%減の4億3千800万円となりました。この当年度純利益の減少は、主に委託料や減価償却費が増加したことなどによるものです。

次の１５ページをご覧ください。

収益的収支の内訳であります。円グラフ、左側の収益は、主に下水道使用料２億５千万円、雨水処理負担金１億１千万円、長期前受金戻入１億８千万円などがございます。下水道使用料につきましては、有収水量が減少したものの、一部の大口需要の増加により対前年度比０．３％増のとなりました。円グラフ、右側の費用は、主に減価償却費３億１千万円その他、委託料など１億９千万円などがございます。

次の１６ページをご覧ください。

令和６年度下水道事業の資本的収支であります。円グラフ、左側の資本的収入は、企業債や国県補助金などで、対前年度比４．４％減の合計２億２千万円、円グラフ、右側の資本的支出は、管路や処理場等の新設及び更新にかかる建設改良費並びに企業債償還金などで、対前年度比３．３％減の合計４億３千万円となりました。主な建設改良事業として花咲１丁目、鷺沼５丁目及び実籾本郷を中心に処理区域の拡大を図りました。資本的収入が資本的支出に不足する資本的収支不足額につきましては、その財源として、過年度分損益勘定留保資金１億４千３７０万円、減債積立金６億３千４００万円などで補てんしております。

次の１７ページをご覧ください。

剰余金の処分案であります。当年度純利益４億３千８４３万４千円に令和６年度における積立金の取り崩し額である、利益剰余金変動額６億３千４０９万円を加えた未処分利益剰余金１億７千２５２万４千円につきましては、純利益分４億３千８４３万４千円を企業債償還のための減債積立金に積み立て、前年度積立金取崩額の相当額６億３千４０９万円を資本金に組み入れようとするものであります。以上が、下水道事業会計の決算の概要でございます。

以上で、令和６年度習志野市公営企業決算概要の説明を終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

【森議長代理】事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問がございましたら、挙手をもってお願いします。

意見なし

【森議長代理】それでは議題２「第２次経営戦略における令和６年度進捗状況評価について」事務局より説明をお願いします。

【公営企画課長 米山】

＜「第２次経営戦略における令和６年度進捗状況評価について」説明＞

それでは、お手元の資料、第２次習志野市経営戦略進捗管理令和６年度分をご覧ください。経営戦略の令和６年度における進捗状況について、ご説明いたします。評価方法は、資料の一番上にあります類型１、実績数値により、進捗状況を評価する項目については、達成率に

応じて、達成率１００％以上をＡとするものから、達成率２４％以下までのＥ、の５段階で評価をいたします。類型２、施策進捗状況により進捗状況进行评估する項目については、Ａの計画どおり進捗しているものから、Ｅの未着手までの５段階で評価いたします。

はじめにガス事業経営戦略の進捗状況について、でございますが、経営戦略に掲げる３つの基本方針に分類され、（１）安全なガスの供給、（２）持続可能な経営、（３）災害に強くたくましいガスがあり、全部で１７の評価項目のうち、Ａ評価が８項目で全体の４７％、Ｂ評価が６項目の３５％、Ｃ評価が１項目、Ｅ評価が２項目ありましたが、Ａ評価とＢ評価合わせますと、１４項目の施策が概ね進捗している結果となりました。Ｅ評価は、ガス整圧器遠隔遮断装置の材料の流通が滞ったことにより、当初想定していた時期に資材を調達できなかったため、６年度内に装置が設置できなかったこと、及びカーボンニュートラル都市ガスの新規契約を目標に営業活動を行いました、契約に至らなかったためであります。

続きまして、水道事業経営戦略の進捗状況でございます。基本方針は、ガス事業と同様３つに分類され、評価項目は全部で１７項目あり、そのうち、Ａ評価が１３項目で全体の７６％、Ｂ評価が４項目の２４％と、すべての施策が概ね、進捗している結果となりました。

最後に、下水道事業経営戦略の進捗状況でございます。基本方針は、ガス事業及び水道事業と同様３つに分類され、評価項目は全部で２５項目あり、そのうち、Ａ評価が１０項目で全体の４０％、Ｂ評価が１４項目の５６％、Ｃ評価が１項目でありましたが、Ａ評価とＢ評価合わせますと、２４項目の施策が概ね進捗している結果となりました。Ｃ評価となった項目は、鷺沼特定土地区画整理事業に関連した下水道の整備工事の実施を目標としていましたが、一部が設計までに留まったためであります。

以上が習志野市経営戦略進捗管理の概要となりますが、今後も引き続き経営戦略の推進に努めてまいります。

なお、評価の詳細につきましては、後ほど、ガス・水道・下水道それぞれの進捗状況評価表をご参照いただければと思います。説明は以上でございます。

【森議長代理】事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問がございましたら、挙手をもってお願いします。

意見なし

【森議長代理】それでは議題３「令和７年度優良地方公営企業総務大臣表彰受賞について」事務局より報告をお願いします。

【公営企画課長 米山】

<「令和７年度優良地方公営企業総務大臣表彰受賞について」報告>

去る令和７年７月１７日の木曜日になりますが、本市の水道事業が、令和７年度、優良地方公営企業、総務大臣表彰を受賞いたしました。平成２７年度のガス事業において受賞した以

来、2回目の受賞となり、竹田企業管理者がアジュール竹芝で行われた表彰式に出席し、表彰状が授与されましたので、ご報告申し上げます。この賞は、総務省が、経営の健全性が確保されており、かつ、他の地方公営企業の模範となる取組を行っている、地方公営企業を対象として、総務大臣表彰を行っているものであります。選考にあたっては、経営の健全性が確保されていること。他の公営企業の模範となる経営、及び運営が行われていること。地域で公共の福祉を増進するために運営されていることなどを観点に、総合的に判断されるものであります。

今回、令和6年度から令和15年度の10年間を計画期間とした第2次、習志野市水道事業経営戦略の改定を職員自らが行うことにより、経営視点をもった人材を育成したことが高く評価されました。

今後も、お客様への水道水の安定供給を継続できるよう、将来にわたる持続可能な健全経営の実現に向けて努めてまいります。報告は以上です。

【森議長代理】議題について、以上となります。他に委員の皆さまからございますか。

【及川委員】会議資料について、もう少し早く自宅に届くようにしてほしいです。会議前にしっかりと資料を読む時間を持ちたいと思います。

【企業総務課長 安井】承知しました。できるだけ早くお届けできるように努力します。

【森議長代理】本日の日程は以上となります。これをもちまして、令和7年度習志野市公営企業運営協議会第2回会議を閉会します。